

# ハッピーに、リラックス

出会いがもたらした新たな人生。  
癒しに続く、道のり。



トイプードルのチョコと出会ったのは、心身共に疲れ果てていた頃に訪れた友人宅。たまたま上京して宿泊した友人の部屋で、目の前に生後1カ月のモップのような姿が現れた。

「最初は生き物とは思わなくて…。犬が好きで飼っていたことはありましたが、1匹の小さな犬にこんなにも心を動かされるとは思ってもみませんでした。忘れることができなくて、秋田空港に着いてすぐ意を決して友人に電話をしたんです」

あれから12年。人生は180度変わったという。モップのような姿のままのチョコは変わらず、いつも一緒。足を駆け回り、じっと待ち、抱っこされてはゆつくりくつろぐチョコの存在に癒され、導かれてきた。それが運命であるかのように。

チョコのためにと思つて始めたペットマッサージを学ぶ中で、ペットアロマに出会った。アロマを学んでいくほどに、犬だけではなく人を癒したいという目標が生まれた。人の心と体のために整体を勉強する中で、さまざまな方向性が見えてきた。そして、ペットを失った人の心を癒したいと、心理学やカウンセリングにも関わっていく。次から次へと変化する自分の思いに、自分自身が一番驚いていたのかもしれない。

「勉強したことを少しずつ仕事にしていこううちに、自分に足りないものをさらに勉強しなければと思うようになりまし。仕事をして、勉強して。そして、人と犬の癒しの空間が欲しいと。そんな場所が秋田にないのなら、自分の手でつくりたい」

ペットマッサージ、アロマ、整体、経路リンパ、犬せつけん、そしてカウンセリング。チョコとの生活を続ける中で広がっていったものは、全て人とペットの「癒し」に通じる。その中で一番難しいと感じているのは、やはり心のケアだという。

「物事を悪い方向に考えてしまうのは、幼少期からの癖であることが多いです。だから考え方を無理矢理変えることなどできません。話を聞いて、信じて、見守って。その中で本人が何かに気付いてくれるまで、時間をかけて向き合うようにしています。何をアドバイスするかではなく、信頼関係を築いていくことが大切。人のためだけなのではなくて、私自身も、生きるのがラクになりました」

友人、恋人、弟、父親と、その時々で役割を変えてくれるチョコのように、自身がさまざまな役割を持つて

人と向き合う。  
それは「人もペットも幸せになつてほしいから」。  
チョコをギュッと抱きしめて、共に生き、夢を描いて歩んでいく。



サロンに並ぶアロマ用品。心と体を心地よく癒してくれる

人とペットのヒーリングアドバイザー

柳原 淳子 さん

1970年秋田市生まれ。聖霊女子短期大学卒業と同時に上京、コンピューター会社に勤務。宅配業、パン屋、結婚式場などに勤務後、ブティックを経営。ペットマッサージセラピスト、アニマルアロマセラピスト、整体・経路リンパ療法士の資格を取得して2006年リラクゼーションサロンを開業。12年ペット東洋医学アドバイザー資格取得。13年NPO法人日本メディカルアロマセラピー協会秋田校設立。日本メディカルアロマセラピー協会秋田校代表、日本メディカルアロマ心理学スペシャリスト、ペトロスパラカウンセラー。秋田市在住  
Relaxation Salon ルベール  
<http://www.jmaa-levert.com>